

850人参加し無災害決意 3年ぶり一堂に会し

県建築協会と
専門工事団体



7月1日からの全国安全週間を前に熊本県建築協会（鐵谷浩之会長）は21日、熊本ホテルキャッスルで第35回安全大会を開催した。建築協会や協

賛した建築関連専門工事27団体の会員企業など約850人が参加し、無災害を決意した。

昨年の大会まで新型コロナウイルス感染予防で開催した。

参加者を各団体の代表などに制限してい

たため、会員企業とその従業員までが一

堂に会したの

は3年ぶり。

鐵谷会長は

「コロナ予防

対策や気候変動に伴う熱中症への対応など新たな職場づくりが必要となつていい。労働災害

を減少させるためには、事業者と労働者双方が基本ルールを徹底し、また

それらを順守・実行する

ための時間的・人員的余裕を持つた業務体制を構築することが重要だ」と述べた。

県瓦工業組合の吉富訓生理事長は「それぞれの事業所において安全に関する経験やノウハウを伝承し、安全管理のより一層の充実を図る」と協賛団体を代表してゼロ灾害を誓った。

来賓祝辞では、熊本労働局長、県知事、熊本市長のメッセージが代読されたほか、建災防熊本県支部の前川浩志支部長が「会社のため、家族のために事故がないよう努力

してほしい」と安全の徹底を呼び掛けた。

県電設業協会の岩崎裕会長が大会宣言し、「今年度スローガンの『安全は急がず焦らず怠らず』

を旗印に、労働災害を絶対起こさないよう努めること」と力強く訴えた。

大会では、2年以上無

事故の成績を収めた優良

【県建築協会】

立石工務店▽主海建設

▽幸保工務店▽植野建設

▽坂田建設▽松下組

【専門工事業団体】

企業13社の表彰式や、熊本労働局などによる安全衛生講話もあった。
無事故社表彰は次のとおり。
*カッコ内は所属団体

オオタ（県左官協同組合）▽坂本文化瓦（県瓦工業組合）▽高濱豊店（県豊工業組合）▽アイアンジョイント（県鉄筋工事業協同組合）▽交野電気工業（県電気工業組合）▽巧神電工（同）▽立尾電設（県電設業協会）。